

層雲峡 ビヅタセンター



【朝日を浴びた木々の影が雪面に映る／3月層雲峡】

森の青い影

日が長くなったとつくづく感じます。
黒岳には白い白煙。山頂はまだ風が強そうです。
一日の始まりです。木立ちの合間から一条の朝日が差し込み、
やがて次々と、青く優雅な縞模様を置いて行きました。
この粹なグラデーションにはいつも溜息がでます。
ふと足元に視線を落とすと、自分の影もまた青く樹影に重なり、
緩やかに丘の起伏を染め上げていました。



【オオカメノキの冬芽】

山の奥



層雲峡の冬

振り返ればこの冬は(も?)「記録的」な冬でした。旭川の12月から2月の平均気温は平年値より2.3℃も高くなりました。

層雲峡でも、1月23日、低気圧の影響で日中の気温がプラスに転じ、雨が降りまし



(左)【雪まくり 1/24】これがあったら雪崩に注意。
(右)【黒岳沢の雪崩跡 2/15】

黒岳沢周辺では、例年3月下旬頃から雪崩が発生しやすくなりますが、昨年、今年と発生の時期が2月から3月上旬と早まっており、季節外れの雨や暖冬が影響しているようです。

平均気温が何度高いと言っても実感が湧きづらいかもしれませんが、雪解けや、草花の芽吹き、鳥の渡り、

た。日当たりの良い南向き斜面には、春先の湿り雪などでよく見られる「雪まくり(写真左)」がゴロゴロ転がっていました。関東で夏日を記録した2月14日にも、気温が1℃まで上がり、ほとんど雨のような霰に。厳冬の層雲峡としても記録的な日でした。



紅葉時期の変化などから、危険として気付かせられます。環境省や気象庁では、これから身近な生き物の動向を調べる「生物季節観測」を行うっており、HPから検索ができます。
(*グラフ観測値/気象庁)

今日の子ビターおは、「押す人」です。



「プシュー!!」

冬ごもり明けましてヒグマも活動開始です

3月14日、群青色に暮れる雪面に、ヒグマの足跡を見ました。長い冬の終わりです。

ところでヒグマの冬眠とは、どんなもの?他の冬眠する哺乳類とはいくつか違うようです。

まず体温が4〜6℃位しか下がらず、外からの刺激があれば、いつでも覚醒しやすいこと。雌は冬眠中に出産をします。また、冬ごもりの穴の中では飲まず食わず。ウンチとオシッコもナシ。普通、毒性のある

尿素は尿として体外に出ますが、もしそれが出ないとすれば大変です。しかしクマ類ではこの尿素を再利用して、蛋白質を再合成するしくみが働いている為、尿素が血液中に蓄積しません。これら冬眠の研究については、今後の医療分野での応用が期待されているそうです。
(参考:冬眠する哺乳類)

エゾリスの恋



【カップル誕生? 3月】

そしてその頃、梢の上ではエゾリスが恋の季節を迎えておりました。とはいえ、そこはシビアな世界。熾烈な争いを勝ち抜いてやっと掴んだ交尾の切符。しつこいと言われようが追いかけます。それがエゾリスの恋なのさ。



【森へ向かうヒグマの足跡】

森のたね

冬の景勝地探訪シリーズ

大雪山麓を歩く ～七賢峰の滝～

層雲峡周辺には、大雪山麓から流れるいくつもの滝がありますが、今回はそのひとつ、七賢峰の滝を紹介します。

この滝は層雲峡の数ある奇岩の中でも代表的な、七賢峰と呼ばれる柱状節理から流れ落ちる滝で、中国の七賢人にたとえて名付けられました。水量が少ない為、葉が茂る春先から秋までは隠れてしまいますが、冬期は国道沿い四の岩覆道付近から、まさに白髭のように全面結氷した滝を望むことができます。また途中の河畔林は、ドロヤナギ、ヤチダモ、カツラなど、成熟した大木が数多くあります。

滝付近には駐車場がないので、陸万パーキングに駐車し、そこから歩きます。層雲峡旅行村入口の橋を渡り、石狩川右岸沿いを上流に向かうと陸万別川に出合います。陸万別川を渡り、さらに 1.2km ほど進むと、右岸壁奥に大きな沢形が見えてきます（左岸には四の岩覆道が見えるので要確認）。そこから奥まった沢形を詰めていくと、高さ約 45m の氷結した七賢峰の滝が現れてきます。帰路は往路を辿ります。



【全面結氷した七賢峰の滝】 3/25

七賢峰の滝冬期コースタイム (往復 3km)

- ①国道 39 号線沿い陸万P→(0.5h)②陸万別川砂防ダム→(1h)③七賢峰の滝→(1h)④陸万別川砂防ダム→(0.5h)①国道 39 号線沿い陸万P

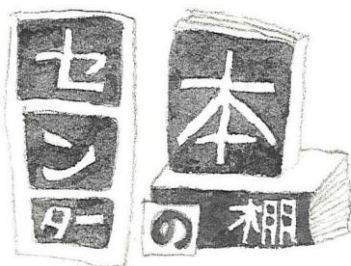
*アプローチにはスノーシューやスキーが必要です。

*入山の際は森林管理署で入山許可を取得してください。

*大雪ダムからの放水がある場合は近づかないください。

*滝は解け始めると落水しますので近づかないください。

(七賢峰の滝は例年だと 4 月頃から解け始めます。)



鳥のなき声ずかん

ぶん/え 藪内正幸

もじ 篠原榮太

おと 佐藤聡明

(福音館書店)

「センターの本棚」は身近な自然にふれる本を紹介しています。図書は館内で閲覧できます。



暖かくなると、多くの鳥たちが北海道に渡ってくる。しかし姿が見られるのは、春のほんの少しの間で、樹木の葉が茂る頃には、鳴き声だけが頼りとなる。そうなる、もうお手上げだ。鳴き声だけで識別するには、聞き慣れるしか術はなく、頭の中には何年たっても、はてなマークが消えない鳥がいる…。

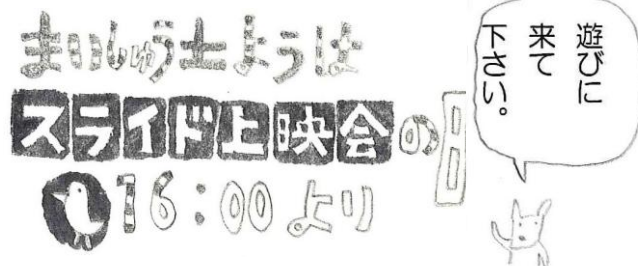
それなら鳥の鳴き声を、楽譜にしてみたらどうだろう？ ページをめくると、鳥たちの愉快なコーラスがわんさか飛び出してくる。

私、歌にはさっぱり自信がないが歌ってみましょ。だって鳥たちとおしゃべりしたいから。ほら、成せば成るっていうじゃないですか。



★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★



平成21年度 自然観察講座年間スケジュール

(※内容は天候等により変更になる場合があります)

- 5月 バードウォッチング ～愛山溪
【内容】大雪山麓に生息する野鳥を観察する

- 6月 山麓トレッキング ～高原沼
【内容】登山のための体力づくりと健康講座

- 7月 黒岳定点観察登山①②
【内容】雪渓・開花状況と分布調査と観察会
山開き登山 ～西クマネシリ岳
【内容】無理なく登る「登山学」を学ぶ

- 8月 黒岳定点観察登山③④

- 9月 三国山観察登山
【内容】紅葉を観察しよう

- 9月・10月 季節の自然散策 ～紅葉谷
【内容】山麓の身近な自然を観察しよう

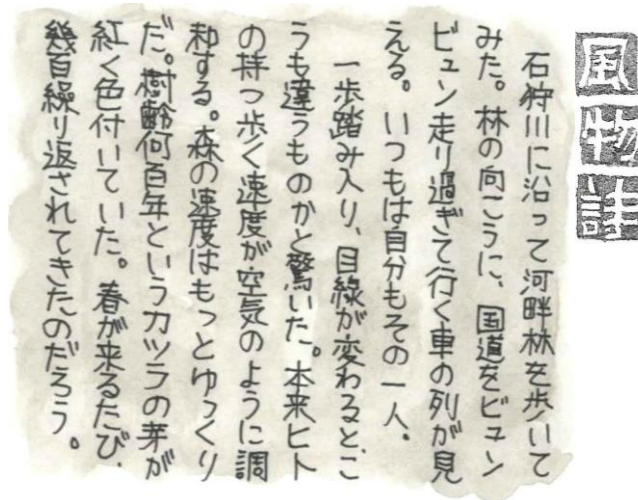
- 1月・2月 スノーシュートレッキング
【内容】スノーシューで行く冬の森の観察会

- 2月 大雪山麓を歩く①大函
【内容】積雪期ならではの景勝地へ

- 3月 大雪山麓を歩く②七賢峰の滝
③黒岳九十九沢

いきものカレンダー

- 2/1 フキナウ 2/5 クマタカ 2/6 オジロワシ
- 2/7 クマゲラ・オオアカゲラ 2/9 クマゲラ
- 2/15 ホシガラス(黒岳) 2/16・17 ギンザンマシ
- コ 2/20 マヒワ・ベニヒワ・ギンザンマシコ・オオ
- アカゲラ 2/24 オオワシ・オジロワシ 2/26 クマ
- タカ・キレンジャク・エゾリス 3/3 ギンザンマシ
- コ・オジロワシ 3/4 ウソ 3/9 エゾリス・ミノサザ
- イ・カワガラス・オジロワシ 3/11 ギンザンマシコ
- 3/14 ヒグマ足跡 3/21 オコジョ 3/22 クマゲ
- ラ 3/24 キクイタダキ・エゾリス 3/25 クマゲ
- ラ・オオアカゲラ 3/26 イズナ・ヤチネズミ



発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

HP アドレス <http://sounkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～5月/9:00～17:00月休(祝祭日翌日)